

平成31年 2月25日

いわぎん事業創造キャピタル株式会社

「岩手新事業創造ファンド」による投資について

いわぎん事業創造キャピタル株式会社（代表取締役社長 稲垣秀悦）は、株式会社岩手銀行などと組成した「岩手新事業創造ファンド」（以下、当ファンド）の投資先として、船舶ロボットなど屋外環境ロボットの開発や魚群等の生体群制御システムの開発を行う**炎重工株式会社**（以下「**炎重工**」本社：滝沢市、代表取締役 **古澤洋将氏**）に出資を行うことを決定しましたので、下記の通りお知らせします。

炎重工は、東日本大震災を機にUターンした古澤氏により設立され、海上などを自動航行する船舶型ロボットの開発等、ロボット技術等を活用した社会課題の解決に取り組んでいます。平成30年11月には総務省「平成30年度 ICT イノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）」の採択を受け「生体群制御技術」による養殖用の生け簀内の誘導及び魚群のモニタリングをおこなう次世代の養殖システムの研究開発をスタートさせており、本県水産業の復興支援のみならず将来の国内外水産市場への飛躍など、今後の成長が期待できることから、今回の出資を決定しました。

記

1. 投資決定先の概要

| | |
|--------|---|
| 企業名 | 炎重工株式会社 |
| 代表者 | 代表取締役 古澤洋将 |
| 所在地 | 岩手県滝沢市穴口408番地10 |
| 設立 | 平成28年2月25日 |
| 事業内容 | 屋外環境型ロボットの研究開発、生体群制御技術の研究開発 |
| 投資額・方法 | 非公表・株式取得 |
| 企業の特徴等 | 古澤氏は、医療福祉用ロボット開発のベンチャー企業等に勤務後、東日本大震災を機にUターンし炎重工を設立。平成29年には筑波大学発ベンチャーの認定を受けている。 平成27年 総務省 異能 vation の採択により、魚群等の生体群制御の研究開発をスタートし、平成30年「生体群制御技術」の特許取得。同年、総務省 I-Challenge!の採択により、大型水槽を用いた誘導及び魚群のモニタリングに取り組む。 |

2. ファンドの概要

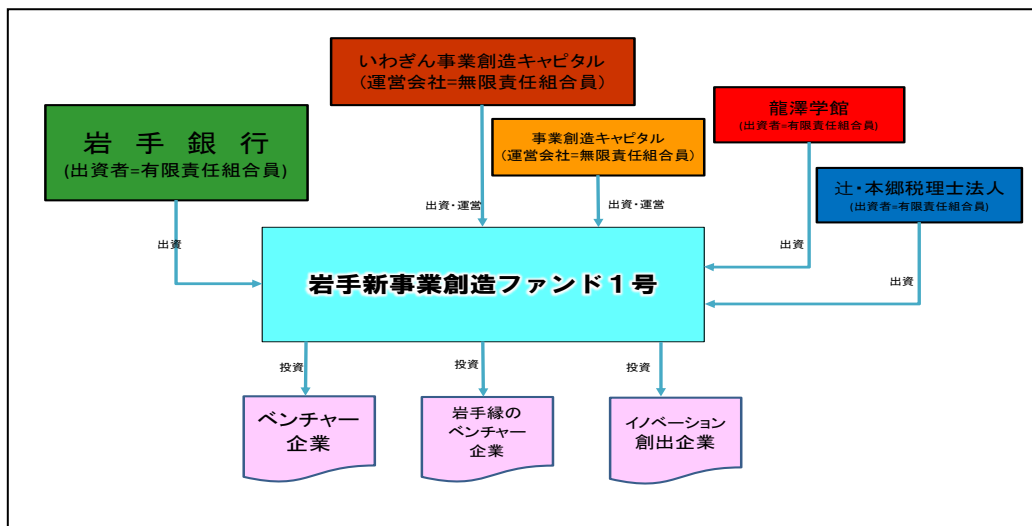
| | |
|--------|---|
| 名 称 | 岩手新事業創造ファンド1号投資事業有限責任組合 |
| 設 立 日 | 平成27年6月12日 |
| ファンド規模 | 10億円 |
| 出 資 者 | 無限責任組合員：いわぎん事業創造キャピタル株式会社 事業創造キャピタル株式会社 有限責任組合員：株式会社岩手銀行 学校法人龍澤学館 辻・本郷税理士法人 |
| 期 間 | 投資期間7年、存続期間10年（但し、必要があれば、期間の満了日から1年毎に最長2年間の延長を行うこともあります） |

[投資方針]

岩手県の経済の活性化に寄与することが期待される以下の企業について、投資を通じて育成を行い又は事業を支援することにより、組合契約期間中にこれらの企業の企業価値を向上させ、株式公開、株式譲渡、自己株式取得等により投資資本額以上の回収を図るよう努めます。

- (1) 岩手県のベンチャー企業
- (2) 岩手県出身者等が経営する岩手県外のベンチャー企業
- (3) 岩手県の企業等でイノベーションの創出を目指す企業
- (4) そのビジネスモデルが今後岩手県にとって参考になりうるような岩手県外企業

3. ファンドのスキーム図



以 上

<本件に関するお問合せ先>

経営戦略室 猪俣 TEL：019-621-1470